

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●看護学科の方針

看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数124単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。
これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう
下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と
専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・
コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりを持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、
さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

看護が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に
創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
教養科目群	科学的思考	基礎ゼミナール	1前	2	必修14単位＋選択2単位以上		○	○	○
		物理学	1後	2				○	
		生物学	1前	2				○	
		化学	1前	2				○	
		情報処理	1前	2				○	
		統計学	1前	2				○	
	人間理解と社会	心理学	1後	2				○	
		生命倫理学	1前	2				○	
		哲学	1後	2				○	
		社会福祉学	1前	2				○	
		日本国憲法	1後	2				○	
		東洋史概説	3前	2				○	
	語学	西洋史概説	3前	2				○	
		英語Ⅰ(初級)	1前	2				○	
		英語Ⅱ(中級)	1後	2				○	
		英会話Ⅰ	2前	2				○	
		医学英語	2後	2				○	
基礎英語演習		2前	2			○			
学部共通科目群	保健医療	応用英語演習	2後	2			○		
		スポーツ健康科学演習	1後	2			○		
		健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前	2			○		
		健康管理学Ⅰ	2前	2			○		
		健康管理学Ⅱ	2後	2			○		
		チーム医療とコミュニケーション	1後	2			○	○	
		栄養学	1後	2			○		
		身体運動科学	2後	2			○		
		東洋医療概論	2後	2			○	○	
		統合医療概論	2後	2			○	○	
IPW論	3前	1			○	○	○		

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●看護学科の方針
看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数124単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。
これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう
下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術
地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と
専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力
チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・
コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

③豊かな人間力
他者への思いやりを持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、
さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力
看護が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に
創造的に問題を解決することができます。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④		
			必修	選択							
学 科 専 門 科 目 群	専 門 基 礎 分 野	人 体 の 構 造 と 機 能	形態機能学Ⅰ	1前	1	必 修 2 1 単 位 + 選 択 2 単 位 以 上		○	○		
			形態機能学Ⅱ	1前	1			○	○		
			形態機能学Ⅲ	1後	1			○	○		
			形態機能学Ⅳ	1後	1			○	○		
			フィジカルアセスメント	2前	2		○	○			
			生化学	1後	2			○	○		
			発達心理学	1前			2		○	○	
	疾 病 の 成 り 立 ち と 回 復 の 促 進	微生物学	1後	1			○	○			
		病理学	1後	1			○	○			
		臨床薬理学	2前	1			○	○			
		臨床病態学Ⅰ	2前	1			○	○			
		臨床病態学Ⅱ	2前	1			○	○			
		臨床病態学Ⅲ	2前	1			○	○			
		臨床病態学Ⅳ	2後	1			○	○			
		臨床病態学Ⅴ	2後	1			○	○			
		臨床心理学	1後		2			○	○	○	
	社 会 保 険 支 援 と 制 度	医療概論	1前	1			○	○			
		公衆衛生学	1後	2			○	○			
		看護関係法規	3前	2			○				
		保健統計学	2前		2		○				
		疫学	2後		2		○				
	専 門 分 野 Ⅰ	基 礎 看 護 学	看護学概論	1前	1		必 修 1 2 単 位	○			
			看護理論	1後	2			○			
			生活援助論Ⅰ	1前	2			○			○
			生活援助論Ⅱ	1後	2			○			○
			診療援助論Ⅰ	1後	2			○			○
			診療援助論Ⅱ	2前	2			○			○
看護過程演習			2前	1	○				○		
実 習 地	基礎看護学実習Ⅰ	1前	1	3 必 修 単 位	○	○	○	○			
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		○	○	○	○			

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●看護学科の方針

看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数124単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。
これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう
下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

看護が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区 分	授業科目	配 当 年 次	単位数		履修方法 及び 卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④
			必修	選択					
学 科 専 門 分 野 Ⅱ	成人 看護学	成人看護学概論	2前	2	必 修 3 8 単 位	○			
		成人看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		成人看護援助論Ⅱ	2後	1		○			○
		成人看護援助論Ⅲ	3前	1		○			○
		成人看護援助論Ⅳ	3前	1		○			○
	老年 看護学	老年看護学概論	2前	2		○			
		老年看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		老年看護援助論Ⅱ	3前	1		○			○
	母性 看護学	母性看護学概論	2前	2		○			
		母性看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		母性看護援助論Ⅱ	3前	1		○			○
	小児 看護学	小児看護学概論	2前	2		○			
		小児看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		小児看護援助論Ⅱ	3前	1		○			○
	精神 看護学	精神看護学概論	2前	2		○			
		精神看護援助論Ⅰ	2後	1		○			○
		精神看護援助論Ⅱ	3前	1		○			○
	臨地 実習	成人看護学実習Ⅰ（急性）	3後	3		○	○	○	○
		成人看護学実習Ⅱ（慢性）	3後	3		○	○	○	○
		老年看護学実習Ⅰ	3後	3		○	○	○	○
		老年看護学実習Ⅱ	3後	1		○	○	○	○
母性看護学実習		3後	2	○	○	○	○		
小児看護学実習		3後	2	○	○	○	○		
精神看護学実習		3後	2	○	○	○	○		

ディプロマポリシー
(DP：学位授与方針)

【卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

●看護学科の方針

看護学科に4年以上在籍し、卒業要件単位数124単位を取得したものに卒業が認定され、学士（看護学）の学位が与えられます。

これは看護師国家試験受験資格となります。チーム医療とヒューマンケアリングを創造的に実践できるよう

下記の能力を身につけた人材に学位を授与します。

●4つのディプロマ・ポリシー

①精度の高い専門的知識と専門技術

地域社会や医療現場等でのチームにおける看護の役割を理解し、自己の看護観をもち、実践に即した精度の高い知識と専門技術を活用し、それぞれの立場を理解した上で看護力を発揮することができます。

②チーム医療で活躍するための幅広い知識と協調性・コミュニケーション能力

チーム医療を実践するために他職種に関する幅広い知識と患者・家族の想いを理解し、チーム医療の実践に欠かせない協調性・コミュニケーション能力を駆使して、根拠や倫理観に基づいたケアを提供することができます。

③豊かな人間力

他者への思いやりの心を持ち、人によりそう豊かな感性、その想いを医療の力にかえることのできる人間力、

さらには生命と真摯に向き合う高い倫理観を育むことができます。

④主体的問題解決能力

看護が実践される現場に適応し、患者や家族あるいは地域住民といった人々のニーズを見極め、個別のニーズに応えられるよう主体的に創造的に問題を解決することができます。

区分	授業科目	配当年次	単位数		履修方法及び卒業要件	D P ①	D P ②	D P ③	D P ④	
			必修	選択						
学 科 専 門 科 目 群	在宅看護論	在宅看護概論	2前	2	必修 2 2 単位 + 選 択 1 単 位	○				
		在宅看護援助論Ⅰ	2後	1		○	○		○	
		在宅看護援助論Ⅱ	3前	1		○	○		○	
		外来看護論	3前			1	○	○		
	看護の統合と実践Ⅰ	健康教育論	2後	2			○	○		
		家族看護学	3前	1			○	○		
		看護管理論	4後	1			○			
		災害・国際看護論	4後			1	○			
		看護概説	1後			2	○			
		学校保健	2前			2	○			
		健康相談活動論	2後			2	○	○		
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2前		2		○		
	公衆衛生看護学演習		3前			2	○			○
	公衆衛生看護活動論Ⅰ		2後			2	○			○
	公衆衛生看護活動論Ⅱ		2後			2	○			○
	公衆衛生看護活動論Ⅲ		3前			2	○			
	公衆衛生看護活動論Ⅳ		3前			2	○			
	公衆衛生看護管理論		3前			2	○			
	保健医療福祉行政論		3前			2	○			
	臨床実習	在宅看護論実習	4前			2	○	○	○	○
		公衆衛生看護学実習	4前			4	○	○	○	○
		主題実習Ⅰ	4前	2			○	○	○	○
		主題実習Ⅱ	4前			1	○	○	○	○
	卒業研	看護研究	3前	1			○			○
		卒業研究	4通	2			○			○
	実践Ⅱ	看護学セミナーⅠ	4前	2			○			
		看護学セミナーⅡ	4後	2			○			
		公衆衛生看護セミナー	4後			1	○			
		臨床看護技術セミナー	4後	1			○			
	卒業要件単位数					124				